



一生懸命さが見る人の心を打った、美和っ子太鼓の演奏

地域の活性化に一役

10年目を迎えた須恵古代まつり

須恵古代まつりが5月3日、須恵古代館周辺で開かれました。

美和小学校5・6年生の美和っ子太鼓の演奏で幕開け。「ドキドキしたけど、頑張った」と茶畑裕人君（11歳・長船町飯井）。名刀太鼓の力強い演奏がこれに続きました。名刀太鼓と美和っ子太鼓の共演では、「ヨイサ

「ヨイサ」の掛け声に会場からも手拍子が起こり、祭りムードが一気に高まりました。

地元の皆さんが屋台を構成、訪れた皆さんは須恵古代館を見学したり、催しを楽しんだり。10年目を迎えた同まつりは、地域の活性化に大きな役割を果たしています。

地元人形劇団が魅せた

糸あやつり人形劇に観劇者の目はくぎ付け

4月29日、邑久町公民館で地元アマチュア人形劇団が人形劇を上演しました。

出演は、「つきみ草」「星の子」「ピエロ」「ちよつかえる一座」の4劇団。「かぐや姫」「笠じぞう」などが上演され、語りかけてくるような人形たちに、観劇する

約180人の目はくぎ付けになりました。

松尾春枝さん（56歳・牛窓町長浜）は、「人形劇を見るのははじめて。人形がリアルですね。正直に生きていたら良いことがある、と教えられるようでした」と話していました。



人形劇団「ピエロ」の「笠じぞう」の一場面。優しい人形たちと物語に、見た人の心はホカホカになったはず

笑顔で交流親睦深める

幌加内中学生が牛窓中学校訪問

牛窓中学校体育館で4月25日、北海道幌加内中学校の3年生12人と牛窓中学校の3年生71人の交流会が行われました。

旧牛窓町と姉妹縁組を結んでいる幌加内町から、中学校の修学旅行の際に立ち寄ったもので、同年代の生徒同士すぐに溶け込み、互いに親睦を深めました。交流会は牛窓中学校の生徒たちの企画で行われ、自己紹介の後ゲームなどとして楽しみました。

この日の思い出を胸に、5月17日からは牛窓中学校の3年生が北海道へ修学旅行に出発。幌加内中学校を訪れ、さらに親睦を深めました。



同世代同士、会話も弾みます

講師に市長を迎え

ふれあい学級開講

長船町公民館主催の平成17年度ふれあい学級が4月28日、開講しました。

この日は、講師の立岡脩二市長が「瀬戸内市のビジョン」と題し講演。「平成17年度は市の計画作り、土台作りをしていきたい」などと語り、参加者約150人が耳を傾けました。

ふれあい学級は、地区運営委員の皆さんが計画を練り毎月第4木曜日に開いており、大勢の会員仲間と一緒に勉強したり楽しく過ごしたりしています。



「瀬戸内市のビジョン」について語る立岡市長

排水処理施設が完成

西須恵浄化センターで通水記念式

排水処理施設が完成し4月19日、西須恵浄化センターで通水記念式典が行われました。

地元役員の皆さんら約50人が出席。立岡脩二市長が稼動スイッチを入れ、使用を開始しました。

処理対象人口は540人（155戸）。生活雑排水・し尿を浄化センターに集め、微生物・薬品処理をして汚泥や窒素・リンを除去。処理水は尻無川に放流します。

総事業費は、約10億1,500万円。



540人分の生活雑排水などを処理する、西須恵浄化センター

活気付いた一日

尻海だんじり祭り

5月4日、尻海のだんじり祭り（隔年開催）が開催されました。だんじり祭りは、東町・西町・市場町の3基のだんじりが、伊勢音頭としゃぎり（太鼓や笛などではやす鳴り物）に合わせ、勇壮な動きを見せていました。

ふるさとを離れても祭りの日には帰省する人もおり、大勢の皆さんが法被を着て祭りに参加。この日の尻海地区は、にぎやかなしゃぎりの音が夜まで鳴り響き、活気付いた一日でした。



勇壮に練り歩くだんじり

行列敵かに

弘法寺の脚供養

日本3大脚供養の一つである弘法寺（牛窓町千手）の脚供養が5月5日、行われました。

これは、県指定重要無形民俗文化財にもなっており、奈良時代、尼僧となった藤原豊成の娘の中將姫が極楽浄土へ導かれる伝説を劇化したもの。中将姫の人形を手に6観音が地蔵・天童・稚児・僧侶ら70人の行列を従え、阿弥陀像のもとまで練り歩きました。



きらびやかな6観音